

2011年3月期 第1四半期決算
補足説明資料
(決算の概要 および 業績見通し)

2010年7月28日



JFE商事 ホールディングス 株式会社

1. 2011年3月期第1四半期連結決算のポイント
2. 連結損益計算書
3. 連結貸借対照表(要約)
4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)
5. セグメント情報
6. 2011年3月期 連結業績予想及び配当予想
7. 第二次中期経営計画(09～11年度)
8. 〈参考〉売上高・経常利益推移(連結)

1. 2011年3月期 第1四半期連結決算のポイント

売上高は、輸出が好調に推移したこと、国内でも自動車分野向けが増加、建設機械・産業機械分野の需要が底入れしたことなどから、前年同期比で520億円増収の4,840億円。

経常利益は、国内外のグループ会社の収益が改善した事により、前年同期比28億円増益の53億円。

四半期純利益は、経常利益28億円増益に、法人税等や少数株主損益の増減を加味した結果、前年同期比17億円増益の31億円。

2. 連結損益計算書

(億円)

	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減(当四半期-前年同期)	
			増減	増減率
売上高	4,840	4,320	520	12%
売上総利益	176	148	28	19%
(利益率)	(3.6%)	(3.4%)	(0.2%)	
販管費	125	123	2	2%
営業利益	51	25	26	104%
営業外損益	2	0	2	
経常利益	53	25	28	113%
特別損益	1	-	1	
税引前 四半期純利益	52	25	27	109%
四半期純利益	31	14	17	121%

売上高・売上総利益

JFE商事(単独)	+	613	+13
・鉄鋼	+	535	+8
・原材料・資機材	+	78	+5
分社3社		46	3
国内子会社	+	29	+10
海外子会社	+	44	+5
HD、分割3社	+	25	+3
連結修正		145	0

販売費及び一般管理費

人件費、販売費の増 他

営業外損益

持分法損益 +5、受取配当金 1 他

特別損失

 当期：資産除去債務会計基準適用による影響： 1
 前期：無し

3. 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	当四半期末 (6月末)	前年度末	増減
総資産	5,359	5,268	91
純資産	1,075	1,071	4
有利子負債	1,119	1,081	38
有利子負債倍率 (DER)	1.09倍	1.06倍	0.03倍
自己資本比率	19.1%	19.4%	0.3%

有利子負債

海外CCにおける取引の増による運転資金の増加等により前期末比38億円増の1,119億円。

J商 : +20
 海外子会社 : +16 (内、為替による影響 +5) 他

総資産

取引の増加に伴い売上債権や棚卸資産が増加した事等により、前期末比91億円増の5,359億円。

現預金 +43
 売上債権 +57 : J商 +5、分社3社 +17、分割会社 +6、
 国内子会社 +20、海外子会社 +9
 棚卸資産 +11 : J商 7、分社3社 +4、分割会社 +3、
 国内子会社 +2、海外子会社 +9

純資産

〈4億円増の内訳〉

~増加~ 四半期純利益 +31億円
 ~減少~ 評価・換算差額 15億円
 支払配当 12億円
 少数株主持分 +0億円

利益剰余金 +19 (純利益 +31、支払配当 12)
 評価・換算 15 (株式 21、為替 +6 他)
 少数株主 +0

有利子負債倍率(DER)

= 有利子負債 ÷ (純資産 - 少数株主持分)

自己資本比率

= (純資産 - 少数株主持分) ÷ 総資産

4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(億円)

	当四半期 (4-6月)
営業活動によるCF	33
投資活動によるCF	9
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	24
財務活動によるCF	21
現金及び現金同等物の増減	45
現金及び現金同等物(期首)	242
現金及び現金同等物(期末)	285

営業活動によるCF

税引前利益	+ 53
減価償却	+ 14
営業立替の増	11
在庫の増	8
法人税等の 支払及び還付	14 他

投資活動によるCF

有形固定資産の取得	7
無形固定資産の取得	2 他

財務活動によるCF

借入金の増減	+ 33
配当金の支払	12 他

5. セグメント情報

(億円)

	当四半期(4-6月)	
	売上高	経常利益
鉄鋼および鉄鋼周辺	4,759	49
食品	54	3
半導体	26	2
不動産他	1	1

当第一四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成21年3月27日企業会計基準第17号)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成20年3月21日企業会計基準適用指針第20号)を適用しております。

鉄鋼および鉄鋼周辺

《鉄鋼分野》

アジア新興国や中東地域における拡販を精力的に展開してきた事に加え、環境・エネルギー分野への販売活動に注力。今後更なる拡大が見込まれる自動車向け鋼板需要に対応するため、タイに鋼材加工センターの設立を決定。

【ご参考】鋼材数量・単価の前年同期比較(JFE商事・単体)

国内鉄鋼：数量+380千トン、単価 19.0千円/トン

鉄鋼貿易：数量+372千トン、単価 +144ドル/トン

USD平均レート(4月~6月)：97.79円 91.87円

《原材料分野》

国内粗鋼生産量の回復に伴う鉄鉱石および石炭などの鉄鋼原料やクロム系合金鉄の需要拡大に着実に対応。

メキシコ・カナダ産鉄鉱石や豪州産石炭の中国・韓国向け三国間取引にも積極的に取り組む。

鉄スクラップにおいては、国内集荷拠点の整備や新規仕入先の開拓などにより、輸出及び三国間取引の拡大に努める。

食品 第3のビール『プライムドラフト』が堅調に推移したことに加えて、中東地域向けツナ缶詰が好調。

半導体 遊戯機器用画像基板が好調に推移。事務機器用ICも前年に比べて大幅に回復した。これに加えて、液晶パネル用ICが引き続き安定的に推移。

不動産 保有不動産の売却に取り組む。

6. 2011年3月期 連結業績及び配当予想

鉄鋼業界の動向

アジア域内を中心に輸出が堅調に推移するとともに、国内では輸出型産業である自動車や建設機械・産業機械分野向けにおいて、回復基調が継続すると考えられる。

一方、土木分野を中心とした純内需向けは引き続き低迷する見通しであることから、本格的な需要回復には未だ時間を要するものと思われる。

上記のとおり当社を取り巻く環境は緩やかに回復していくものと想定されるが、中国の鋼材市況が軟調に推移していることや、原材料のスポット価格が不安定な状況にあることなど懸念要素も多く、今後の状況を十分に注視していく必要があると考える。

当第1四半期の業績は、
概ね予想通りに推移

業績予想に変更なし。
(2010年4月28日公表)

6. 2011年3月期 連結業績及び配当予想



4月28日公表の業績予想値に変更なし。

(億円)

通期連結業績	11.3期 予想	10.3期 実績	増減額	増減率
売上高	21,800	18,119	3,681	20%
営業利益	255	151	104	68%
経常利益	250	145	105	73%
当期純利益	155	75	80	107%

1株当たり配当金	10円	5円
	期末で実施	期末で実施

配当予想の修正については、本日、別途開示の「平成23年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

7. 第二次中期経営計画(09～11年度)

JFE商事グループ 第二次中期経営計画 (2009年4月～2012年3月)

〈経営ビジョン〉

「鉄鋼商社でトップレベルのエクセレントカンパニーを目指す」

〈重点経営課題〉

収益基盤の更なる強化

中長期的に増大すると考えられる鉄鋼需要、
とりわけ「**海外需要への対応**」を軸とした施策に取り組む。

人材の育成・強化

グループとしての新たな企業風土の確立

CSR活動の強化と経営インフラの整備

〈鉄鋼分野〉

今後更なる需要拡大が見込まれる中国・インド・タイをはじめとする新興国において、
需要家のニーズに即応した鋼材加工センターの新設や機能拡充を図る。
アジア地域を中心に当社顧客をはじめとする
鉄鋼関連企業との資本参加を含む協力関係の構築を積極的に進める。

〈原材料分野〉

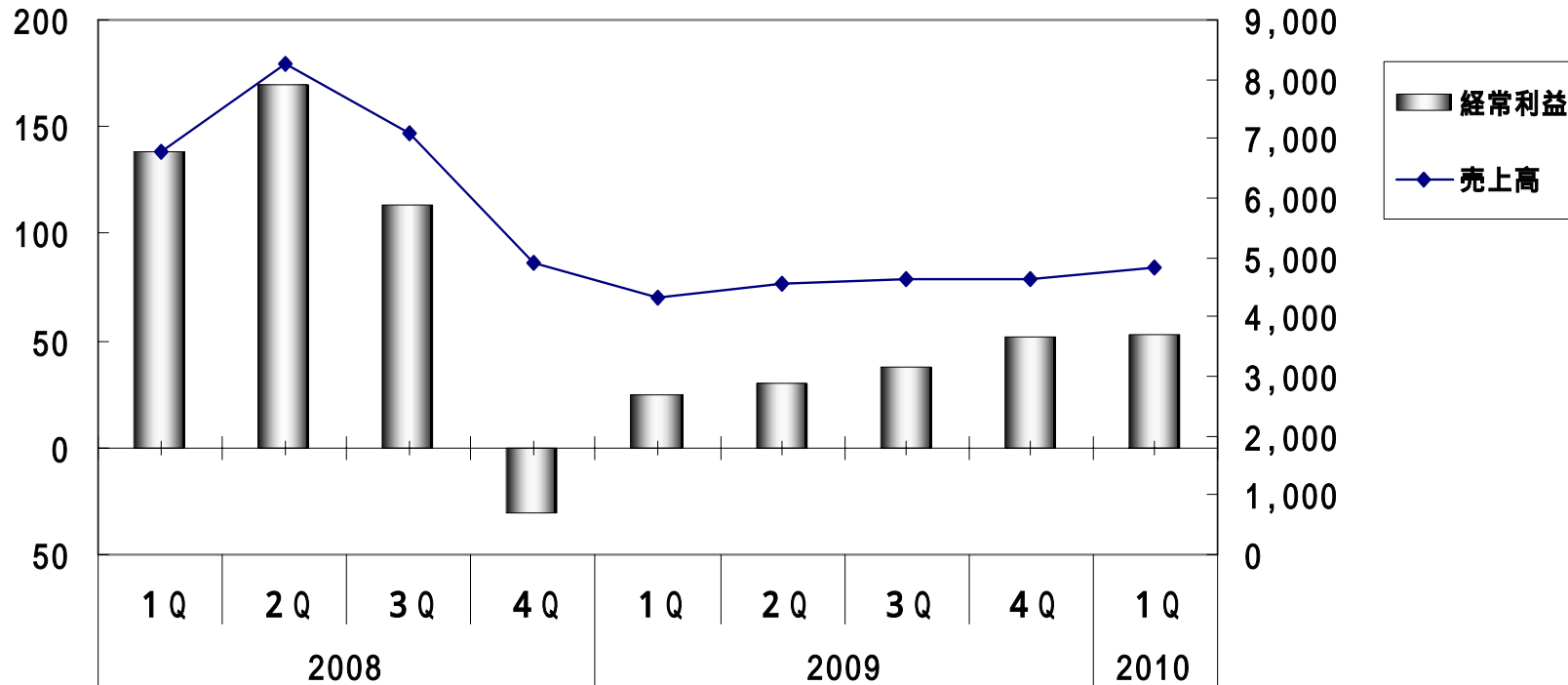
鉄鉱石や石炭をはじめとする鉄鋼原料の新規仕入ソースの開拓を進める。

8. 《参考》売上高・経常利益推移（連結）

売上高・経常利益推移（連結）

（経常利益/億円）

（売上高/億円）



（億円）

	2008年度				2009年度				2010
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	6,793	8,245	7,110	4,918	4,320	4,551	4,629	4,619	4,840
経常利益	138	170	113	31	25	30	38	52	53



JFE

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。